

第51回 全国高等専門学校体育大会 剣道競技



おいでんまつり花火大会



香嵐溪



挙母祭り

写真提供：豊田市

大会期日 平成28年8月27日(土) 及び 28日(日)

競技会場 スカイホール豊田（豊田市総合体育館）サブホール

主 催	一般社団法人 全国高等専門学校連合会
担 当 地 区	東海北陸地区
担 当 校	豊田工業高等専門学校
競技開催校	豊田工業高等専門学校
主 管	全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部 豊田工業高等専門学校
後 援	文部科学省 公益財団法人日本体育協会 一般財団法人全日本剣道連盟 愛知県 愛知県教育委員会 公益財団法人愛知県体育協会 一般財団法人愛知県剣道連盟 西三河剣道連盟 豊田市 豊田市教育委員会 公益財団法人豊田市体育協会 豊田市剣道連盟

社団法人全国高等専門学校体育協会マーク

全国高等専門学校体育協会マーク



手は技術を表わす。

手を開いた親指の部分为首、他の4本を翼にして、鳩を表徴している。
鳩は平和と共に伝書鳩の速力と正確さを表徴する。

下の楕円は大地を意味し、技術がしっかりと地についたものであることを求める。

心、技、体の3つが立派に調和した姿を青年諸君に強く期待する。

私はこのような心持でこのマークを作ったのである。

昭和42年 盛夏

赤 澤 鉦太郎

作家のご紹介

元 京都高等工芸学校助教授

元 京都市染色試験所図案部長

目 次

一般社団法人全国高等専門学校連合会会長あいさつ	1
文部科学大臣祝辞.....	2
豊田市長祝辞.....	3
第 51 回全国高等専門学校体育大会実行委員長あいさつ	4
大 会 役 員.....	5
実 行 委 員 会.....	7
第 51 回（平成 28 年度）全国高等専門学校体育大会実施要項	9
競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧表	12

【剣 道 競 技】

一般財団法人全日本剣道連盟会長祝辞	16
式 典 次 第.....	17
競 技 役 員.....	18
剣道競技実施要項.....	19
全国高等専門学校体育大会剣道競技に関する申合せ事項	23
組合せ表（団体の部）	25
組合せ表（個人の部）	28
出場校及び選手名簿（団体の部）	30
出場選手名（個人の部）.....	32
年次別大会優勝校（者）一覧	34
協 賛 企 業.....	38



あいさつ

一般社団法人 全国高等専門学校連合会

会長 前野 一 夫

このたび、東海北陸地区を担当として開催される第 51 回全国高等専門学校体育大会に、全国 57 校 62 キャンパスの高等専門学校を代表する学生諸君が集い、「その努力が実る場所！」のスローガンの下に、盛大なる若人の祭典が繰り広げられますことは、誠に喜びに堪えません。

本大会は、豊田工業高等専門学校を担当校とし、同校並びに富山高等専門学校本郷キャンパス、富山高等専門学校射水キャンパス、石川工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、岐阜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校の 10 校 11 キャンパスを開催会場として、14 種目の競技が実施されます。全国 8 地区の大会で優秀な成績を収め、本大会出場の栄誉を勝ち取られた皆さんが、これまでの厳しい練習で培ってこられた力を遺憾なく発揮されるとともに、それぞれの競技を通じて友情の輪が育まれることを期待しております。

本大会の目的は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身の健康な学生を育成するとともに、高等専門学校学生相互の親睦を図ることにあります。併せて、厳しい練習過程や大会での実戦を通じて、学生の人間性の陶冶と人格形成を図り、将来の技術者としての資質と能力を磨くことに資するものであります。

参加される皆さん一人ひとりが本大会の目的を念頭に置かれ、高等専門学校の学生として節度ある行動のもとに、所期の目標を達成されることを祈念いたします。

来年度は小山高専を担当校とし、関東信越地区で開催されます。本大会における盛り上がりや次回の大会に引き継ぐべく、国公私立高専が一同に集うことで、より全国高専の一体感、連帯感が醸成され、高専としてのアイデンティティーが形成されることを強く望みます。

最後に、各関係競技団体並びに御支援を賜りました文部科学省、公益財団法人日本体育協会、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県をはじめ、本大会の運営に御協力くださいました多くの皆様に心よりお礼を申し上げ、挨拶いたします。



祝 辞

文部科学大臣

馳 浩

第51回全国高等専門学校体育大会が、全国から多数の参加者を得て、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成し、また、高等専門学校相互の親睦を図ることを目的とした伝統ある大会であると伺っております。

今年は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、4年後の2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。文部科学省としても、大会を成功させるため、選手の育成を図るとともにスポーツの促進に向けて全力で取り組んで参りたいと思います。また、開催後も誰もがスポーツを身近に親しむことのできる環境づくりを推進し、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進していきたいと思います。

選手の皆さん、いつも支えてくれている方々への感謝の気持ちを忘れず、日頃の練習の成果を存分に発揮してください。そして、全国各地から集まった仲間との親睦を大いに深め、本大会が生涯の思い出に残るすばらしい大会となることを願っています。

結びに、伝統ある本大会の開催、運営に御尽力されました関係の皆様方に敬意を表しますとともに、本大会の成功を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

豊田市長

太 田 稔 彦

このたび、「第51回全国高等専門学校体育大会」が、本市をはじめ東海北陸地区の各地で開催され、また第1回大会以来50年ぶりに、ここ豊田の地で開会が迎えられることをお喜び申し上げます。

また、全国各地からお越しいただきました多くの選手・役員の皆さまを心から歓迎申し上げます。

本大会は、全国57校62キャンパスの国公私立高等専門学校の学生が各地区の予選を勝ち抜き、日ごろの練習の成果を存分に発揮する大会であると同時に、心身ともに健康な学生を育成し、普段関わることのできない仲間との親睦を図る大会であると同っております。

本市は、ラグビーワールドカップ2019やサッカー日本代表が参加するキリンカップサッカー大会など国際イベントの開催から、J1リーグの名古屋グランパスのホームタウン試合や豊田マラソン大会など市民参加のイベントまで、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる生涯スポーツ社会の実現を「する」「みる」「支える」の視点から取り組んでおります。そのような本市において、豊田工業高等専門学校が担当校となり全国大会が開催されることは、大変意義深く、本市の更なるスポーツの推進に寄与していただけるものと期待しております。

選手の皆さまにおかれましては、日頃の練習の成果を十分発揮され、互いの全力をぶつけ合い、各地区の代表としての自信と誇りを胸に、「する」人「みる」人「支える」人、すべての人に熱い試合を届け、大会を大いに盛り上げていただきたいと思います。

最後に、伝統ある本大会の開催、運営にご尽力いただきました豊田工業高等専門学校をはじめ、大会に携われた関係者の皆さまに深く敬意と感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆さまのご健闘を祈念申し上げ、歓迎のごあいさつといたします。

あ い さ つ



第 51 回全国高等専門学校体育大会

実行委員長 高 井 吉 明

(豊田工業高等専門学校長)

第 51 回全国高等専門学校体育大会が、「その努力が実る場所！」をスローガンに、8 月 17 日から東海北陸地区で開催されます。高専体育大会は教育の一環として高専生の心身の錬磨と人格の陶冶並びに全国高専生の交流を目的に行われます。全国 57 校 62 キャンパスの高等専門学校の選手諸君、指導教員をはじめ、多くの関係者をお迎えし、大会を開催できますことを喜び、競技開催校を代表して心から歓迎申し上げます。

高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力の育成を目的に 1962 年から全国で設立され始め、現在創立 50 周年を順次迎えています。全国高等専門学校体育大会は、昨年、第 50 回の節目を迎えました。実は、この全国高等専門学校体育大会の記念すべき第 1 回大会は豊田高専が主管となって、1966 年にスタートしました。第 51 回の本体育大会は豊田高専が第 2 回目の主管校として開催するものであり、新たなスタートを切ったという思いであります。高専生の日ごろのクラブ活動は、社会のリーダーとして心身共に健全な人材の育成に大きな役割を果しており、その活動の成果を競う本体育大会も歴史と伝統ある大会に発展してきています。

今年の大会は、東海北陸の各地及び神戸市の競技会場で 14 種の競技が行われます。それぞれの競技の開催担当校は、豊田工業高等専門学校（陸上競技、卓球、剣道）、鳥羽商船高等専門学校（バスケットボール）、岐阜工業高等専門学校（バレーボール、テニス）、鈴鹿工業高等専門学校（ソフトテニス）、石川工業高等専門学校（柔道）、福井工業高等専門学校（硬式野球）、沼津工業高等専門学校（サッカー）、金沢工業高等専門学校（ハンドボール）、富山高等専門学校射水キャンパス（バドミントン）、富山高等専門学校本郷キャンパス（水泳）及び神戸市立工業高等専門学校（ラグビーフットボール）の計 10 高専 11 キャンパスとなっています。

本大会に出場する学生諸君は、地区大会を勝ち抜き、地区の代表選手として参加しています。日ごろの鍛錬の結果を遺憾なく発揮して、正々堂々と全力を尽くして悔いのない闘いをして頂きたいと願っています。また、この大会を通して、全国高専の仲間や競合相手とも親睦と交流を深め、高専生間の絆を一層強くして頂ければ幸いです。

最後に、本大会を開催するにあたり、多大な御支援と御助力を賜りました関係諸機関・団体並びに関係各位に心から感謝申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

大 会 役 員

名 誉 会 長

公益財団法人日本陸上競技連盟会長
 公益財団法人日本バスケットボール協会会長
 公益財団法人日本バレーボール協会会長
 公益財団法人日本サッカー協会会長
 公益財団法人日本ハンドボール協会会長
 公益財団法人日本テニス協会会長
 公益財団法人日本バドミントン協会会長
 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会会長

横 川 浩
 三 屋 裕 子
 木 村 憲 治
 田 嶋 幸 三
 渡 邊 佳 英
 畔 柳 信 雄
 綿 貫 民 輔
 岡 村 正

会 長

木更津工業高等専門学校長

前 野 一 夫

副 会 長

神戸市立工業高等専門学校校長
 鈴鹿工業高等専門学校長
 /鳥羽商船高等専門学校長
 石川工業高等専門学校長
 岐阜工業高等専門学校長
 金沢工業高等専門学校長

山 崎 聡 一
 新 田 保 次
 須 田 義 昭
 伊 藤 義 人
 ルイス・パークスデール

サレジオ工業高等専門学校長
 富山高等専門学校長
 福井工業高等専門学校長
 沼津工業高等専門学校長
 豊田工業高等専門学校長

小 島 知 博
 石 原 外 美
 松 田 理
 藤 本 晶
 高 井 吉 明

顧 問

文部科学省スポーツ庁長官
 公益財団法人日本体育協会会長
 愛知県知事
 三重県知事
 富山県知事
 福井県知事
 岐阜県教育委員会教育長
 静岡県教育委員会教育長
 福井県教育委員会教育長
 岐阜市長
 四日市市長
 鳥羽市長
 裾野市長
 富山市長
 射水市長
 鯖江市長
 津幡町長

鈴 木 大 地
 張 富 士 夫
 大 村 秀 章
 鈴 木 英 敬
 石 井 隆 一
 西 川 一 誠
 松 川 禮 子
 木 苗 直 秀
 森 近 悦 治
 細 江 茂 光
 田 中 俊 行
 木 田 久 主 一
 高 村 謙 二
 森 雅 志
 夏 野 元 志
 牧 野 百 男
 矢 田 富 郎

文部科学省高等教育局長
 一般財団法人全日本剣道連盟会長
 岐阜県知事
 静岡県知事
 石川県知事
 愛知県教育委員会教育長
 三重県教育委員会教育長
 石川県教育委員会教育長
 豊田市長
 鈴鹿市長
 伊勢市長
 沼津市長
 三島市長
 高岡市長
 金沢市長
 越前市長
 豊田市教育委員会教育長

常 盤 豊
 張 富 士 夫
 古 田 肇
 川 勝 平 太
 谷 本 正 憲
 平 松 直 巳
 山 口 千 代 己
 田 中 新 太 郎
 太 田 稔 彦
 末 松 則 子
 鈴 木 健 一
 栗 原 裕 康
 豊 岡 武 士
 高 橋 正 樹
 山 野 之 義
 奈 良 俊 幸
 福 嶋 兼 光

岐阜市教育委員会教育長	早 川 三 根 夫	鈴鹿市教育委員会教育長	長 谷 川 雅 人
四日市市教育委員会教育長	葛 西 文 雄	伊勢市教育委員会教育長	北 村 陽
鳥羽市教育委員会教育長	斎 藤 陽 二	沼津市教育委員会教育長	服 部 裕 美 子
裾野市教育委員会教育長	風 間 忠 純	三島市教育委員会教育長	西 島 玉 枝
富山市教育委員会委員長	若 林 啓 介	高岡市教育委員会教育長	氷 見 哲 正
射水市教育委員会教育長	長 井 忍	金沢市教育委員会教育長	野 口 弘
鯖江市教育委員会教育長	辻 川 哲 也	越前市教育委員会教育長	中 島 和 則
神戸市教育委員会教育長	雪 村 新 之 助	津幡町教育委員会教育長	吉 田 克 也
公益財団法人愛知県体育協会会長	大 村 秀 章	公益財団法人岐阜県体育協会会長	小 野 木 孝 二
公益財団法人静岡県体育協会会長	川 勝 平 太	公益財団法人富山県体育協会会長	石 井 隆 一
公益財団法人石川県体育協会会長	谷 本 正 憲	公益財団法人福井県体育協会会長	西 川 一 誠
公益財団法人名古屋市教育局スポーツ協会理事長	西 村 幸 久	公益財団法人豊田市体育協会会長	幸 村 的 美
岐阜市体育協会会長	村 瀬 恒 治	NPO法人沼津市体育協会会長	臼 井 勇 二
NPO法人裾野市スポーツ協会会長	鈴 木 啓 久	公益財団法人富山市体育協会会長	塩 井 保 彦
公益財団法人高岡市体育協会会長	塩 谷 雄 一	公益財団法人射水市体育協会会長	夏 野 元 志
金沢市体育協会会長	米 沢 寛	一般社団法人鯖江市体育協会会長	橋 本 智 之
公益社団法人越前市体育協会会長	美 濃 美 雄	一般社団法人津幡町体育協会会長	塩 谷 優
一般財団法人愛知陸上競技協会会長	稲 垣 隆 司	三重県バスケットボール協会会長	八 木 秀 行
岐阜県バレーボール協会会長	武 藤 容 治	三重県ソフトテニス連盟会長	井 本 泰 三
石川県柔道連盟会長	西 恒 成	一般財団法人愛知県剣道連盟会長	富 田 孝 夫
一般財団法人愛知県剣道連盟理事長	大 嶽 將 文	一般財団法人静岡県サッカー協会会長	岡 野 光 喜
兵庫県ラグビーフットボール協会会長	田 中 康 憲	石川県ハンドボール協会会長	中 村 和 哉
岐阜県テニス協会会長	大 友 克 之	富山県バドミントン協会会長	綿 貫 民 輔
一般社団法人富山県水泳連盟会長	大 塚 重 英	福井県高等学校野球連盟会長	福 岡 慎 二
三重県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部会長	加 藤 幸 弘	鈴鹿市ソフトテニス連盟会長	川 喜 田 博 行
豊田市卓球協会会長	竹 内 敏 子	西三河剣道連盟会長	渡 並 直
豊田市剣道連盟会長	都 築 繁 雄	高岡市バドミントン協会会長	佐 武 俊 作
射水市バドミントン協会会長	姫 野 洋 一	富山市水泳協会会長	大 塚 重 英

参 与

小山工業高等専門学校長	大 久 保 恵	高知工業高等専門学校長	濱 中 俊 一
宇部工業高等専門学校校長	三 谷 知 世	函館工業高等専門学校長	但 野 茂
八戸工業高等専門学校長	岡 田 益 男	舞鶴工業高等専門学校長	齋 藤 福 栄
呉工業高等専門学校長	森 野 数 博	久留米工業高等専門学校長	三 川 譲 二
群馬工業高等専門学校長	西 尾 典 眞	松江工業高等専門学校長	井 上 明

実 行 委 員 会

実行委員長

豊田工業高等専門学校長 高井 吉明

副委員長

富山高等専門学校長	石 原 外 美	金沢工業高等専門学校長	ルイス・パークスデール
石川工業高等専門学校長	須 田 義 昭	福井工業高等専門学校長	松 田 理
岐阜工業高等専門学校長	伊 藤 義 人	沼津工業高等専門学校長	藤 本 晶
鳥羽商船高等専門学校長	新 田 保 次	鈴鹿工業高等専門学校長	新 田 保 次
神戸市立工業高等専門学校長	山 崎 聡 一	豊田工業高等専門学校教務主事	塚 本 武 彦
豊田工業高等専門学校学生主事	安 藤 浩 哉		

委 員

富山高等専門学校（本郷）学生主事	青 山 晶 子	富山高等専門学校（射水）学生主事	塚 田 章
金沢工業高等専門学校学生主事	瀧 本 明 弘	石川工業高等専門学校学生主事	川 原 繁 樹
福井工業高等専門学校学生主事	辻 子 裕 二	岐阜工業高等専門学校学生主事	久 保 田 圭 司
沼津工業高等専門学校学生主事	芳 野 恭 士	鳥羽商船高等専門学校学生主事	坂 牧 孝 規
鈴鹿工業高等専門学校学生主事	下 古 谷 博 司	神戸市立工業高等専門学校学生主事	寺 田 雅 裕
富山高等専門学校（本郷）体育主任	日 比 端 洋	富山高等専門学校（射水）体育主任	大 橋 千 里
金沢工業高等専門学校体育主任	瀧 本 明 弘	石川工業高等専門学校体育主任	北 田 耕 司
福井工業高等専門学校体育主任	島 田 茂	岐阜工業高等専門学校体育主任	山 本 浩 貴
沼津工業高等専門学校体育主任	渡 邊 志 保 美	鳥羽商船高等専門学校体育主任	山 田 英 生
鈴鹿工業高等専門学校体育主任	船 越 一 彦	神戸市立工業高等専門学校体育主任	小 森 田 敏 一
豊田工業高等専門学校体育主任	伊 藤 道 郎	富山高等専門学校事務部長	林 興
金沢工業高等専門学校事務局長	山 岸 徹	石川工業高等専門学校事務部長	村 松 薫
福井工業高等専門学校事務部長	木 村 義 徳	岐阜工業高等専門学校事務部長	澤 田 利 夫
沼津工業高等専門学校事務部長	大 山 正 人	鳥羽商船高等専門学校事務部長	菅 野 敬 也
鈴鹿工業高等専門学校事務部長	深 津 一 也	神戸市立工業高等専門学校事務室長	岸 田 正 則
豊田工業高等専門学校事務部長	佐々木 弘 司	富山高等専門学校（本郷）学務課長	石 田 芳 那
富山高等専門学校（射水）学生課長	山 田 豊	金沢工業高等専門学校事務局庶務課長	木 谷 理 恵
石川工業高等専門学校学生課長	岩 崎 紀 美 枝	福井工業高等専門学校学生課長	出 倉 義 昭
岐阜工業高等専門学校学生課長	山 口 敏 也	沼津工業高等専門学校学生課長	宇 野 裕 之
鳥羽商船高等専門学校学生課長	梅 村 智 文	鈴鹿工業高等専門学校学生課長	河 村 俊 男
豊田工業高等専門学校学生課長	三 浦 栄 一		

競 技 部

部 長 豊田工業高等専門学校体育主任	伊 藤 道 郎	副部長 富山高等専門学校（本郷）体育主任	日 比 端 洋
副部長 富山高等専門学校（射水）体育主任	大 橋 千 里	〃 金沢工業高等専門学校体育主任	瀧 本 明 弘
〃 石川工業高等専門学校体育主任	北 田 耕 司	〃 福井工業高等専門学校体育主任	島 田 茂
〃 岐阜工業高等専門学校体育主任	山 本 浩 貴	〃 沼津工業高等専門学校体育主任	渡 邊 志 保 美
〃 鳥羽商船高等専門学校体育主任	山 田 英 生	〃 鈴鹿工業高等専門学校体育主任	船 越 一 彦
〃 神戸市立工業高等専門学校体育主任	小 森 田 敏		
委 員 富山高等専門学校（本郷）	仁 木 康 浩	〃 金沢工業高等専門学校	山 口 真 史
〃 石川工業高等専門学校	岩 竹 淳	〃 福井工業高等専門学校	東 章 弘
〃 福井工業高等専門学校	青 木 宏 樹	〃 岐阜工業高等専門学校	久 世 早 苗
〃 岐阜工業高等専門学校	麻 草 淳	〃 沼津工業高等専門学校	佐 藤 誠
〃 沼津工業高等専門学校	黒 田 一 寿	〃 鳥羽商船高等専門学校	重 永 貴 博
〃 鈴鹿工業高等専門学校	宝 来 毅	〃 神戸市立工業高等専門学校	中 川 一 穂
〃 神戸市立工業高等専門学校	春 名 桂	〃 豊田工業高等専門学校	高 津 浩 彰
〃 豊田工業高等専門学校	加 藤 貴 英	〃	

種目別競技委員

陸上競技

委員長	豊田工業高等専門学校	伊藤道郎	委員	豊田工業高等専門学校	大塚勝美
委員	豊田工業高等専門学校	山本貴正	委員	豊田工業高等専門学校	北野孝志

バスケットボール

委員長	鳥羽商船高等専門学校長	新田保次	委員	東京都立産業技術高等専門学校	門多嘉人
委員	鳥羽商船高等専門学校	出江幸重	委員	鳥羽商船高等専門学校	吉田南徳子
委員	鳥羽商船高等専門学校	三重野雄太郎			

バレーボール

委員長	岐阜工業高等専門学校学生主事	久保田圭司	委員	香川高等専門学校（高松）	中瀬巳紀生
委員	鳥羽商船高等専門学校	重永貴博	委員	岐阜工業高等専門学校	和田清允
委員	岐阜工業高等専門学校	北井輝彦	委員	岐阜工業高等専門学校	黒山喬
委員	岐阜工業高等専門学校				

ソフトテニス

委員長	鈴鹿工業高等専門学校	宮田剛	委員	鈴鹿工業高等専門学校	大貫洋介
委員	鈴鹿工業高等専門学校	甲斐穂高	委員	鈴鹿工業高等専門学校	岡芳樹

卓球

競技専門部委員長	サレジオ工業高等専門学校	渡邊聡	委員	豊田工業高等専門学校	山下清吾
委員	豊田工業高等専門学校	伊東賢二	委員	豊田工業高等専門学校	田中貴幸
委員	豊田工業高等専門学校	藤原			

柔道

委員長	石川工業高等専門学校	畔田博文	委員	石川工業高等専門学校	小村良太郎
委員	石川工業高等専門学校	原田敦史			

剣道

委員長	豊田工業高等専門学校	兼重明宏	委員	豊田工業高等専門学校	西澤一
委員	豊田工業高等専門学校	大原雄児	委員	豊田工業高等専門学校	河野託也

硬式野球

委員長	福井工業高等専門学校	奥村充司	委員	東京工業高等専門学校	鈴木智之
委員	福井工業高等専門学校	辻野和彦	委員	福井工業高等専門学校	青木宏樹

サッカー

委員長	新居浜工業高等専門学校	安藤進一	委員	徳山工業高等専門学校	藤田重隆
委員	釧路工業高等専門学校	森秋敏	委員	熊本工業高等専門学校（八代）	田月邦彦
委員	鈴鹿工業高等専門学校	三長一	委員	沼津工業高等専門学校	望月孔佳
委員	沼津工業高等専門学校	山崎悟史	委員	沼津工業高等専門学校	駒佳明
委員	沼津工業高等専門学校				

ラグビーフットボール

委員長	神戸市立工業高等専門学校	小森田敏	委員	和歌山工業高等専門学校	森岡隆
委員	近畿大学工業高等専門学校	五十石浩	委員	奈良工業高等専門学校	森弘暢
委員	大阪府立大学工業高等専門学校	上村匡敬			

ハンドボール

委員長	金沢工業高等専門学校学生主事	瀧本明弘	委員	金沢工業高等専門学校体育教員	山口真史
委員	金沢工業高等専門学校事務局長	山岸徹	委員	金沢工業高等専門学校事務局	紺谷武史

テニス

委員長	岐阜工業高等専門学校教務主事	熊崎裕教	委員	沼津工業高等専門学校	黒田一寿
委員	岐阜工業高等専門学校	空健太	委員	岐阜工業高等専門学校	坂部和義
委員	岐阜工業高等専門学校	小林義光	委員	岐阜工業高等専門学校	高橋憲吾

バドミントン

委員長	富山高専専門学校（射水）	山本桂一郎	委員	久留米工業高等専門学校	龍頭信二
委員	富山高専専門学校（射水）	新開純子	委員	富山高専専門学校（射水）	阿蘇
委員	富山高専専門学校（射水）	新村山			

水泳

委員長	富山高専専門学校長	石原外美	委員	大阪府立大学工業高等専門学校	西高志
委員	富山高専専門学校（本郷）	高廣政彦	委員	富山高専専門学校（本郷）	間中淳
委員	富山高専専門学校（本郷）	仁木康浩			

第51回（平成28年度）全国高等専門学校体育大会実施要項

1. 開催趣旨

全国高等専門学校体育大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催する。

2. 主 催

一般社団法人 全国高等専門学校連合会
公益財団法人 日本陸上競技連盟
公益財団法人 日本バスケットボール協会
公益財団法人 日本バレーボール協会
公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
公益財団法人 日本ハンドボール協会
公益財団法人 日本テニス協会
公益財団法人 日本バドミントン協会

3. 主 管

全国高等専門学校体育大会陸上競技専門部、全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会バレーボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会ソフトテニス競技専門部、全国高等専門学校体育大会卓球競技専門部、全国高等専門学校体育大会柔道競技専門部、全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部、全国高等専門学校体育大会野球競技専門部、全国高等専門学校体育大会サッカー競技専門部、全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会ハンドボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会テニス競技専門部、全国高等専門学校体育大会バドミントン競技専門部、全国高等専門学校体育大会水泳競技専門部、全国高等専門学校サッカー連盟、全国高等専門学校ハンドボール連盟、関西ラグビーフットボール協会

一般財団法人愛知陸上競技協会、三重県バスケットボール協会、岐阜県バレーボール協会、岐阜県テニス協会、三重県ソフトテニス連盟、鈴鹿市ソフトテニス連盟、豊田市卓球協会、一般財団法人静岡県サッカー協会、兵庫県ラグビーフットボール協会、石川県ハンドボール協会、富山県バドミントン協会、富山県水泳連盟

4. 後 援

文部科学省

公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人全日本柔道連盟、一般財団法人全日本剣道連盟、公益財団法人日本水泳連盟

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県

愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、石川県教育委員会、福井県教育委員会、兵庫県教育委員会

名古屋市、豊田市、岐阜市、鈴鹿市、四日市市、伊勢市、鳥羽市、沼津市、裾野市、三島市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、鯖江市、越前市、津幡町

豊田市教育委員会、岐阜市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、四日市市教育委員会、伊勢市教育委員会、鳥羽市教育委員会、沼津市教育委員会、裾野市教育委員会、三島市教育委員会、富山市教育委員会、高岡市教育委員会、射水市教育委員会、金沢市教育委員会、鯖江市教育委員会、越前市教育委員会、神戸市教育委員会、津幡町教育委員会

公益財団法人愛知県体育協会，公益財団法人岐阜県体育協会，公益財団法人三重県体育協会，公益財団法人静岡県体育協会，公益財団法人富山県体育協会，公益財団法人石川県体育協会，公益財団法人福井県体育協会，三重県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部，愛知県卓球協会，石川県柔道連盟，一般財団法人愛知県剣道連盟，西三河剣道連盟，福井県高等学校野球連盟

公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会，公益財団法人豊田市体育協会，岐阜市体育協会，一般財団法人鈴鹿市体育協会，NPO法人四日市市体育協会，NPO法人沼津市体育協会，NPO法人裾野市スポーツ協会，公益財団法人富山市体育協会，公益財団法人高岡市体育協会，公益財団法人射水市体育協会，金沢市体育協会，一般社団法人鯖江市体育協会，公益財団法人越前市体育協会，一般社団法人津幡町体育協会

豊田市剣道連盟，高岡市バドミントン協会，射水市バドミントン協会，富山市水泳協会

朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞社，産業経済新聞社，日本経済新聞社，日刊工業新聞社，(株)共同通信社，文教ニュース社，NHK，中日新聞社，北國新聞社

5. 担当地区 東海北陸地区

6. 担当校 豊田工業高等専門学校

7. 開催校

富山高専専門学校，石川工業高等専門学校，福井工業高等専門学校，岐阜工業高等専門学校，沼津工業高等専門学校，豊田工業高等専門学校，鳥羽商船高等専門学校，鈴鹿工業高等専門学校，金沢工業高等専門学校，神戸市立工業高等専門学校

8. 大会期日

平成28年8月17日（水）～9月4日（日）

平成29年1月4日（水）～9日（月）

（冬季は，ラグビーフットボール競技のみ）

9. 競技種目・競技日程・競技開催校・競技会場 一覧表のとおり

10. 事務局

第51回全国高等専門学校体育大会事務局を，豊田工業高等専門学校内に置く。
各種目ごとの事務局は該当競技開催校に置く。

11. 競技方法 各種目別競技実施要項による。

12. 参加資格及び参加人数

全国高等専門学校体育大会実施規則（制定 平成24年6月15日）及び各種目別競技実施要項による。

13. 表彰

全国高等専門学校体育大会実施規則（制定 平成24年6月15日）及び各種目別競技実施要項による。

14. 参加申込方法 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

15. 競技の組合せ 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

16. 選手の変更 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

17. 開会式及び閉会式

- (1) 総合開会式は実施しない。
- (2) 種目別開会式及び閉会式については、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

18. 打合せのための時間

各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

19. 分担金及び参加料

(1) 分担金

分担金は、1 キャンパス当たり175,000円とし、別途、一般社団法人全国高等専門学校連合会事務局から請求書が送付されるので、それにより一般社団法人全国高等専門学校連合会事務局に納付する。

(2) 参加料

- ア. 団体戦は、各種目別競技実施要項記載の金額とする。1 チーム当たりの金額は、「1,800円×最大登録選手数」により積算する。(ただし、ラグビーフットボールは、1 チーム当たり33,250円とする。)
- イ. 個人戦は、選手1人当たり1,800円とする。
- ウ. 団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は、重複して参加料を徴収しない。
- エ. 納付は、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。なお、既納の参加料は返還しない。

20. 宿 舎 宿舎の斡旋を希望する学校には、競技開催校で斡旋する。

21. 個人情報の取扱い

- (1) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して競技開催校事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。
- (2) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用いたしません。

22. そ の 他

- (1) 選手の競技中の事故については、主催者側で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。
- (2) 選手は、必ず健康保険証又はそれに代わるものを持参すること。
- (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。

第 5 1 回 全 国 高 等 専 門 学 校 体 育 大 会
競 技 種 目 ・ 競 技 日 程 ・ 開 催 校 ・ 競 技 会 場 一 覧 表

担当校:豊田工業高等専門学校

競技種目		競技日程	開催校	競技会場
陸上競技		平成28年 8月24日(水)～25日(木) 予備日:8月26日(金)	豊田工業高等専門学校	パロマ瑞穂スタジアム (名古屋市瑞穂公園陸上競技場)
バスケットボール	男子	平成28年 9月3日(土)～4日(日)	鳥羽商船高等専門学校	三重交通グループ スポーツの杜 伊勢 (三重県営総合競技場)
	女子	平成28年 9月3日(土)～4日(日)	鳥羽商船高等専門学校	三重交通グループ スポーツの杜 伊勢 (三重県営総合競技場)
バレーボール	男子	平成28年 8月20日(土)～21日(日)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム
	女子	平成28年 8月20日(土)～21日(日)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム
ソフトテニス		平成28年 8月18日(木)～19日(金)	鈴鹿工業高等専門学校	四日市ドーム
卓 球		平成28年 8月20日(土)～21日(日)	豊田工業高等専門学校	スカイホール豊田 メインホール (豊田市総合体育館)
柔 道		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	石川工業高等専門学校	石川県立武道館
剣 道		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	豊田工業高等専門学校	スカイホール豊田 サブホール (豊田市総合体育館)
硬式野球		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	福井工業高等専門学校	A会場:丹南総合公園野球場 B会場:鯖江市西山公園野球場
サッカー		平成28年 8月20日(土)・21(日) ・23日(火)・24日(水) (4日間)	沼津工業高等専門学校	A会場:愛鷹広域公園 多目的競技場・スポーツ広場 B会場:裾野市運動公園 陸上競技場
ラグビーフットボール		平成29年 1月4日(水)・5日(木) ・7日(土)・9日(月) (4日間)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール		平成28年 8月17日(水)～18日(木)	金沢工業高等専門学校	いしかわ総合スポーツセンター
テニス		平成28年 8月25日(木)～27日(土)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター 長良川テニスプラザ
バドミントン		平成28年 8月20日(土)～21日(日)	富山高等専門学校 (射水キャンパス)	高岡市民体育館
水 泳		平成28年 8月21日(日)	富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	富山総合体育センタープール (屋内・長水路)

劍 道 競 技



祝 辞

全日本剣道連盟

会 長 張 富 士 夫

本日、第51回全国高等専門学校体育大会剣道競技の部がスカイホール豊田サブホールにおいて開催されるにあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

剣道は、我が国で育まれた伝統文化であり、剣の道を修練することにより、心を錬り身体を鍛え自己の修養に努めることを目的とした人間形成の道であります。中学校体育の授業で武道が必修正課となりましたのも、「武道の良さ」が見直された証であり、剣道に携わる私たちにとりましては、誠に喜ばしい限りであります。

剣道は世界各国から注目されており、技・体力だけでなく精神鍛錬の場として愛好者も増加し、現在、国際剣道連盟には世界57の国と地域が加盟しております。また、世界剣道選手権大会は3年に1度行われており、昨年5月には第16回世界剣道選手権大会が日本武道館で開催されましたことは、記憶に新しいことであります。これを機に日本の剣道が世界に普及することを期待しております。

本大会の趣旨は、高等専門学校教育の一環として、広く武道の実践の機会を与え、技術の向上と武道精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成することです。選手の皆さんが実学の修得のかたわら、剣道に励み心身を錬磨されることは、社会に出てから大いに役に立つことであり、活躍されることを願います。

本日は、優勝の栄冠を目指して日頃の修練の成果を遺憾なく発揮され、思い出に残る大会にして頂きたいと思います。また、全国の剣士との友情を深め、生涯剣道に通じる有意義な大会となりますことを希望します。

終りに、本大会の開催にあたり、その運営に御尽力されておられます関係各位に対し、心からの感謝の意を表し挨拶といたします。

第51回全国高等専門学校体育大会剣道競技

式典次第

開会式

日時	平成28年8月27日（土） 12時30分
場所	スカイホール豊田サブホール
次第	1. 開式通告 2. 開会宣言 3. 文部科学大臣杯返還並びに受賞章授与 4. 開催校挨拶 5. 来賓挨拶 6. 審判長説示 7. 選手宣誓 8. 閉式通告

閉会式

日時	平成28年8月28日（日） 競技終了後
場所	スカイホール豊田サブホール
次第	1. 開式通告 2. 成績発表 3. 表彰 4. 審判長講評 5. 開催校挨拶 6. 閉会宣言 7. 閉式通告

第 5 1 回全国高等専門学校体育大会剣道競技

競 技 役 員

全 国 専 門 委 員 長 兼 重 明 宏

東海北陸地区専門委員 山 田 実

競 技 委 員 長 兼 重 明 宏

競 技 副 委 員 長 西 澤 一 大 原 雄 児
河 野 託 也

審 判 長 東 一 良

審 判 主 任 尾 野 博 之 平 井 道 典

審 判 員 大河内 鉄 彦 北 村 真 一
倉 成 健 治 堀 山 健 一 治
山 田 久 夫 木 下 仁 章
日 置 介 二 白 石 裕 章
島 崎 裕 樹 高 山 潤 一
関 本 和 秀 原 田 広 昭
長谷川 光 広 松 田 武 司
溝 口 夏 樹 宮 崎 正 充
森 健 志 山 崎 嘉 一

救 護 鈴 木 ひろみ

競 技 補 助 員 豊田工業高等専門学校剣道部員

第 5 1 回全国高等専門学校体育大会剣道競技実施要項

1. 主 催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主 管 全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部
豊田工業高等専門学校
3. 後 援 文部科学省，公益財団法人日本体育協会，一般財団法人全日本剣道連盟，
愛知県，愛知県教育委員会，公益財団法人愛知県体育協会，
一般財団法人愛知県剣道連盟，西三河剣道連盟，豊田市，
豊田市教育委員会，公益財団法人豊田市体育協会，豊田市剣道連盟
4. 大会期日 平成 2 8 年 8 月 2 7 日（土）
開会式，女子個人戦（決勝戦まで），男子個人戦（決勝戦まで）
表彰式（個人戦）
平成 2 8 年 8 月 2 8 日（日）
女子団体戦（決勝戦まで），男子団体戦（決勝戦まで）
表彰式（団体戦），閉会式
5. 大会会場 スカイホール豊田（豊田市総合体育館）サブホール
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町 1 - 2 0
T E L 0565-31-0451
6. 競技規則
 - ① 一般財団法人全日本剣道連盟剣道試合・審判規則，同細則及び全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部申し合せ事項による。
 - ② 男子の竹刀は，4 年生以上では，長さ 1 2 0 cm 以下，重さは 5 1 0 g 以上とし，3 年生以下では，長さ 1 1 7 cm 以下，重さは 4 8 0 g 以上とする。いずれも先革の太さは 2 6 mm 以上とする。
 - ③ 女子の竹刀は，4 年生以上では，長さ 1 2 0 cm 以下，重さは 4 4 0 g 以上とし，3 年生以下では，長さ 1 1 7 cm 以下，重さは 4 2 0 g 以上とする。いずれも先革の太さは 2 5 mm 以上とする。
 - ④ サポーターなどの使用は医療上必要と認める場合に限り，見苦しくなく，かつ相手に危害を加えない範囲において認める。
7. 競技種目・競技方法
 - I. 男子団体の部
 - （1）参加校
各地区から選抜された 1 5 校及び開催校による次の計 1 6 校とする。

北海道地区 1, 東北地区 2, 関東信越地区 2, 東海北陸地区 2, 近畿地区 2,
中国地区 2, 四国地区 2, 九州沖縄地区 2, 開催校(地区) 1。

参加登録者は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内(試合出場5名)
計10名以内とする。

(2) 競技方法

- ① トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- ② 試合は5名により行い、勝者数の多い方を勝ちとする。ただし、勝者が同数のときは、総本数の多い方を勝ちとする。勝者数および総本数が同数の場合は、代表者戦を行い、勝敗を決定する。代表者戦は任意の選手による1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
- ③ 勝者の決定は次のとおり行う。
 - ア. 試合は4分3本勝負とし、試合時間内に2本先取した者を勝ちとする。ただし、一方が1本を取り、試合時間が終了したときは、これを勝ちとする。
 - イ. 試合時間内に勝敗が決しないときは、延長戦を行う。延長戦は2分1回だけとし、先に1本取った者を勝ちとする。更に勝敗が決しないときは、引き分けとする。ただし、学校の勝敗が決した場合、延長戦は行わない。
- ④ オーダーの提出は、前試合中堅戦終了まで又は前試合終了後、直ちに提出する。オーダーは試合ごとに変更してもよい。

II. 女子団体の部

(1) 参加校

各地区から選抜された12校(最大16校)とする。

北海道地区 1, 東北地区 1, 関東信越地区 1, 東海北陸地区 2, 近畿地区 1,
中国地区 2, 四国地区 2, 九州沖縄地区 1, 開催校(地区) 1を基準とし、各地区の
参加校数を考慮して剣道競技専門部で決定する。

参加登録者は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内(試合出場3名)
計8名以内とする。

(2) 競技方法

- ① 出場校を4ブロックに分け予選リーグを行い、各1位校により決勝トーナメントを行う。ただし、出場校が12校を超える場合は、トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。
- ② 試合は3名により行い、勝者数の多い方を勝ちとする。ただし、勝者が同数のときは、総本数の多い方を勝ちとする。それでも勝敗が決まらない場合は、引き分けとする。
- ③ 勝者の決定は次のとおり行う。
 - ア. 試合は4分3本勝負とし、試合時間内に2本先取した者を勝ちとする。ただし、一方が1本を取り、試合時間が終了したときは、これを勝ちとする。
 - イ. 試合時間内に勝敗が決しないときは、延長戦を行う。延長戦は2分1回だけとし先取1本勝ちとする。更に勝敗が決しないときは、引き分けとする。
- ④ リーグ戦の順位の決定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点とし、点数の多い学校を上位

とする。同点数の場合は勝者数の多い学校を、勝者数も同数の場合は総本数の多い学校を上位とする。

なお、順位が決定しないときは、代表者戦を行う。代表者戦は任意の選手による1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。トーナメント方式による勝敗の決定、オーダーの提出は、男子団体戦に順ずる。

Ⅲ. 個人の部

(1) 参加者

- ① 各地区から男子4名以内、女子2名以内および監督1名(出場校ごと)とする。ただし、男子個人の部において、北海道地区は3名以内とし、女子個人の部において、東海・北陸地区は4名以内、中国地区と四国地区は各3名以内とする。参加者数については、剣道競技専門部において決定する。
- ② 上記のほか、開催校から男女1名ずつ出場できる。

(2) 競技方法

- ① トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- ② 試合は男子女子ともに4分3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。ただし、延長戦は1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

8. 表 彰

- (1) 団体、個人とも第1位から第3位までの選手に賞状及びメダルを授与する。
- (2) 優勝校には、文部科学大臣杯を授与し、優勝校の持ち回りとする。
- (3) 前年度優勝校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。
- (4) 一般財団法人全日本剣道連盟より優勝校及び第2位校に楯を授与する。また、個人戦入賞者にメダルを授与する。

9. 参加料及び納入方法

団体戦(男子)は1学校12,600円、団体戦(女子)は1学校9,000円、個人戦は選手1人当たり1,800円とする。ただし、団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は、重複して参加料を徴収しない。参加料は、参加申込みと同時に次の振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

振込口座

金融機関名：ゆうちょ銀行(コード 9900)

店 番：089

預金種別：当座

店 名：〇八九(ゼロハチキュウ)

口座番号：0216594

口座名：豊田工業高等専門学校全国体育大会予算委員会

(フリガナ) トヨタコウギョウコウトウセンモンガクコウゼンコクタイイクタイカイヨサノインカイ

【ゆうちょ銀行から振替・払込される場合】

記 号 番 号 : 00890-0-216594

10. 参加申込

- (1) 申込期限 平成28年7月29日(金)(必着とする)
- (2) 申込先 豊田工業高等専門学校 学生課学生支援係
第51回全国高等専門学校体育大会剣道競技事務局
〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地
T E L 0565-36-5913 F A X 0565-36-5970
- (3) 申込方法 参加申込書(様式1)で申し込むこと。

11. 代表者会議

- (1) 日 時 平成28年8月27日(土) 10:00～
- (2) 場 所 スカイホール豊田大会議室
- (3) 出席者 監督及び主将

12. 組合せ抽選

組合せ抽選は、平成28年8月2日(火)に剣道競技実行委員会において行い、その結果を直ちに各参加校に通知する。なお、組合せに当たっては、高専連合会剣道競技専門部の申合せ事項「全国高等専門学校体育大会剣道競技・組合せ要領」によるものとする。

13. 開会式・閉会式

- (1) 開会式 平成28年8月27日(土) 12:30～
スカイホール豊田サブホール
- (2) 閉会式 平成28年8月28日(日) 競技終了後
スカイホール豊田サブホール

14. 宿 舎 別途通知し斡旋する。

15. その他

- (1) 旅行傷害保険は、開催校で一括申込みを行うので、参加申込み時に旅行傷害保険被保険者名簿を提出すること。
- (2) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置をするが、その後の処置は、各学校及び各自で行うこと。
- (3) 健康保険証等は、各自で準備しておくこと。
- (4) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参する。
- (5) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名の公表を希望しない者は、学校を通して大会事務局(gakusei@toyota-ct.ac.jp)に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。

全国高等専門学校体育大会剣道競技運営に関する申合せ事項

表記大会において、競技委員長は公正を旨とし、剣道競技専門部並びに地区専門部の協力を仰ぎ、錯誤のないように留意して、競技を主催・運営する。

〔競技運営に関する事項〕

- 1 大会運営役員及び大会参加登録者（選手、監督、コーチ、マネージャー）は、高等専門学校の大会として相応しい身嗜みに気を付けること。地区専門委員においては、地区予選会においても同様に指導するとともに、全国大会参加者には、地区代表として相応しい身嗜みとなるよう指導する。
なお、大会参加登録者の服装について、選手は、(財)全日本剣道連盟試合規則に従い、剣道着、袴、剣道具の着装、点検等、安全面に十分留意する。監督、コーチの服装については、白シャツにズボン（黒、灰または紺系統色）とし、学生コーチ、マネージャーについては、チームのユニフォーム、制服等とする。
- 2 試合会場には、大会参加登録者のみが入場できる。また、個人戦においては、該当選手及び監督、コーチ（代理を含む）のみが試合会場に入場できる。応援者は指定の応援席でマナー良く応援することとする。試合会場では、大会要項、競技規則及び会場規則に従う。
- 3 男子団体試合で 5 名に満たない場合の特例として、3 名の場合、先鋒・中堅・大将に選手を置き、4 名の場合、先鋒・中堅・副将・大将に選手を置く。また、女子団体戦で 3 名に満たない場合は、先鋒と大将に選手を置く。
- 4 竹刀については、安全に十分配慮し、(財)全日本剣道連盟試合規則に準じ、教育的な配慮のもとで使用する。また、二刀を使う選手は、4 年生以上の者に限ることとする。

〔組み合わせに関する事項〕

- 1 組み合わせ会議は、大会審判長・地区専門委員・地区専門部（剣道部顧問）委員の出席の上で開催する。組み合わせは、前年度の成績・地区予選の成績を考慮し抽選とする。また、組み合わせについては、公表する前に剣道競技専門委員長ならびに各地区専門委員に確認をとる。
- 2 団体戦の組み合わせについては、前年度入賞校をシードする。ただし、① 12 校による予選リーグの場合と② 16 校によるトーナメントの場合で次のように組み合わせを決定する。
 - ① 12 校による予選リーグの場合
シードについては、前年度優勝校を組み合わせ表の 1 番に、第 2 位校を 10 番に、第 3 位校 2 校の内、優勝校に敗れた第 3 位校を 7 番に、準優勝校に敗れた第 3 位校を 4 番にシードする。前年度入賞校が出場しない場合は順次繰り上げる。また、各地区予選の第 2 位校、開催校枠のみで 1 つのブロックを作らないようにする。
 - ② 16 校によるトーナメントの場合
シードについては、前年度優勝校を組み合わせ表の 1 番に、第 2 位校を 16 番に、第 3 位校 2 校の内、優勝校に敗れた第 3 位校を 9 番に、準優勝校に敗れた第 3 位校を 8 番にシードする。前年度入賞校が出場しない場合は順次繰り上げる。また、各地区予選の第 1 位校同士の対戦がないようにする。

なお、上記①と②を決めるにあたり、同一地区内のチームは、左右のブロックに振り分け、決勝戦までは対戦しないことを先に考慮する。また、開催校を含め、同一地区より 3 校が出場となる場合は、同一地区出場校が予選リーグまたは、準決勝戦まで対戦しないようする。
- 3 個人戦の組み合わせについては、前年度入賞者をシードする。個人戦のシード順は、団体戦のトーナメントと同様にし、前年度優勝者をトーナメント表の最初に、第 2 位を最終に、第 3 位を中央にシードする。前年度入賞者が出場しない場合は、順次繰り上げる。
上記を決めるに当たり、同一校の選手は決勝戦まで（無理な場合は準決勝戦まで）、また、同一地区内の選

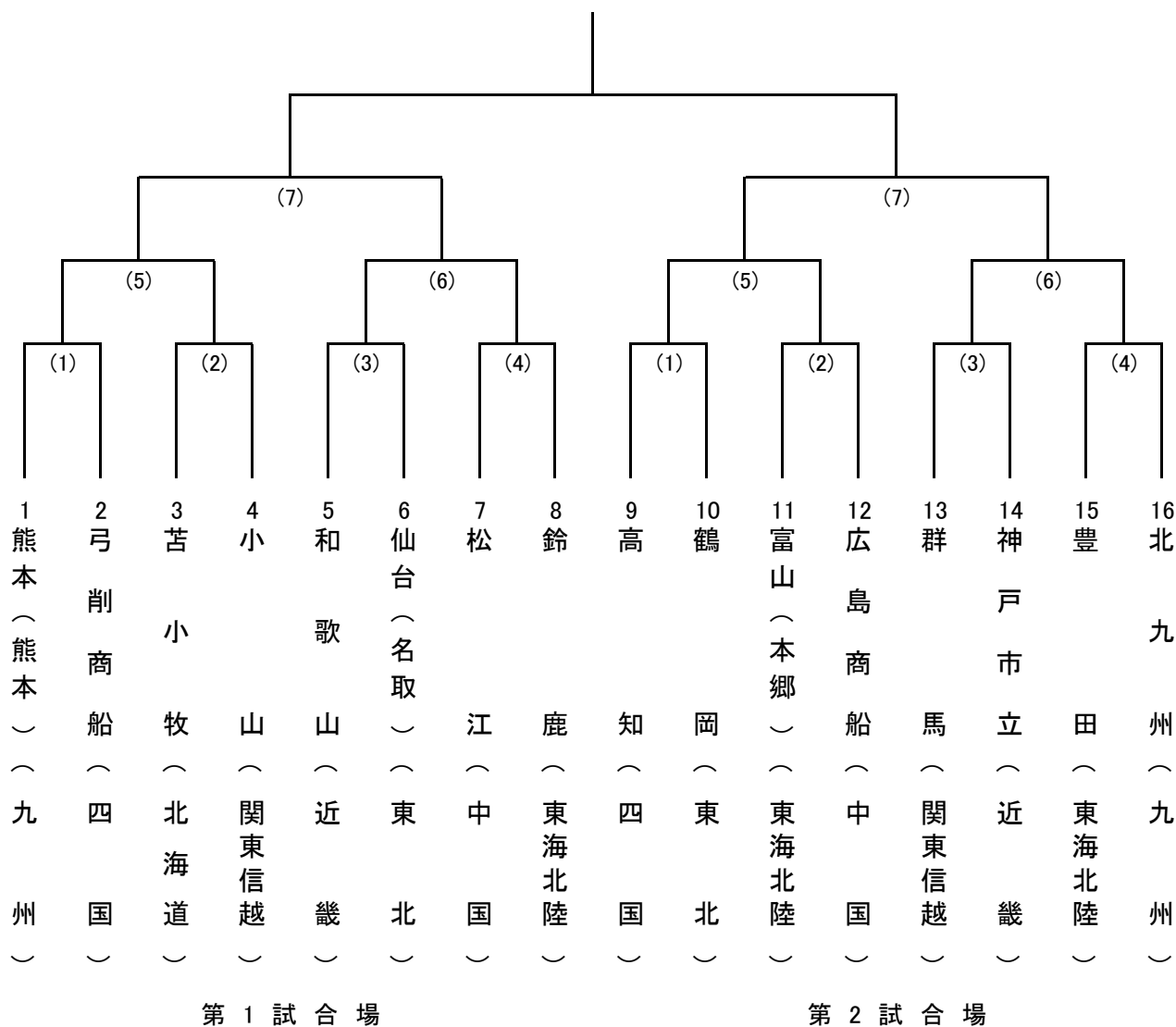
手は準決勝戦まで（無理な場合は準々決勝戦まで）は対戦しないようにする。また、1 回戦で各地区予選第 1 位同士が当たらないように配慮する。

- 4 団体戦リーグ戦の試合順序については、A から D までの各ブロックで、試合順序を次のように組む。A ブロックでの試合順序は番号 2-3 の対戦を第 1 試合目に、1-3 を第 2 試合目に、1-2 を第 3 試合目とする。以下、B・C・D ブロックについても A ブロックと同様に組むものとする。なお、第二試合場 C・D ブロックについては外側の D ブロックから試合を始めるものとする。

以 上

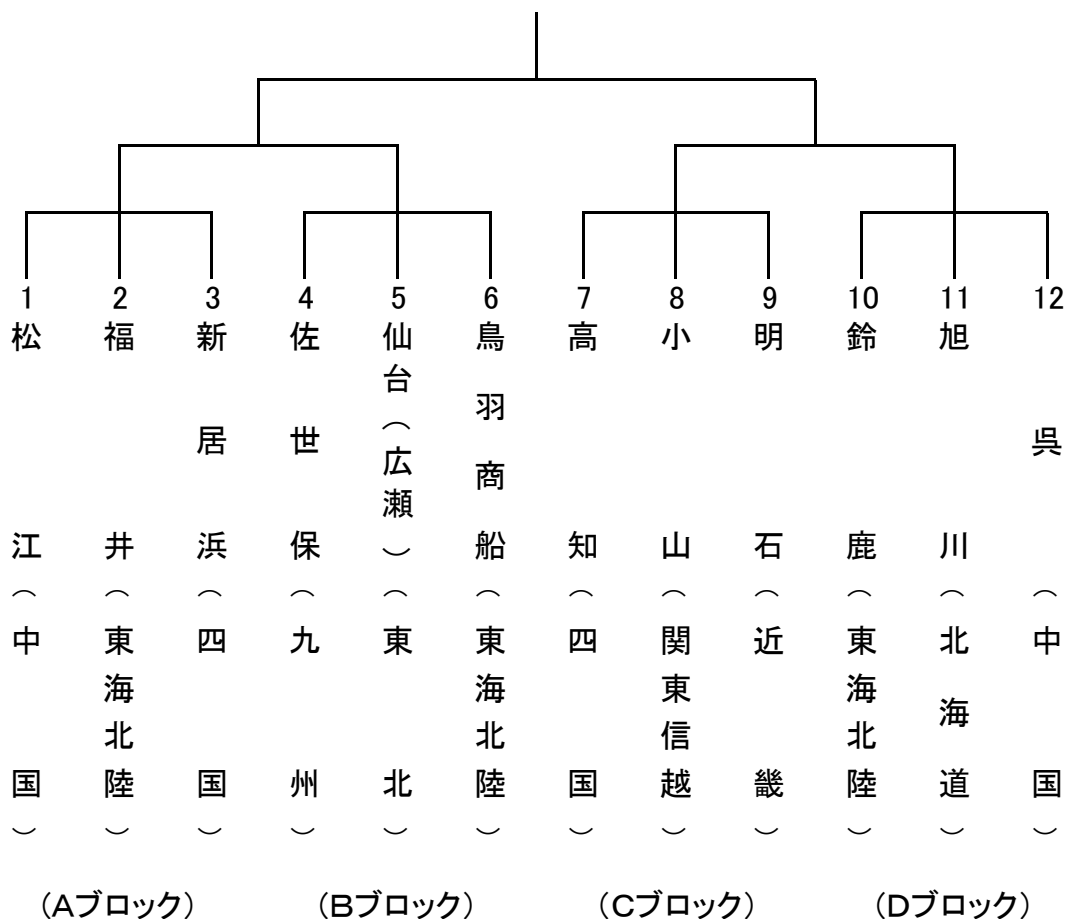
組 合 せ 表

【男子団体戦】



組 合 せ 表

【女子団体戦】予選リーグ及び決勝トーナメント



	第 1 試 合 場				第 2 試 合 場			
1	2 福 井	-	3 新 居 浜	A	11 旭 川	-	12 呉	D
2	5 仙台 (広瀬)	-	6 鳥羽商船	B	8 小 山	-	9 明 石	C
3	1 松 江	-	3 新 居 浜	A	10 鈴 鹿	-	12 呉	D
4	4 佐 世 保	-	6 鳥羽商船	B	7 高 知	-	9 明 石	C
5	1 松 江	-	2 福 井	A	10 鈴 鹿	-	11 旭 川	D
6	4 佐 世 保	-	5 仙台 (広瀬)	B	7 高 知	-	8 小 山	C

準決勝

決勝

記 録 表

Aブロック

	1 松江	2 福井	3 新居浜	勝点	勝者数	総本数	順位
1 松江							
2 福井							
3 新居浜							

Bブロック

	4 佐世保	5 仙台(広瀬)	6 鳥羽商船	勝点	勝者数	総本数	順位
4 佐世保							
5 仙台(広瀬)							
6 鳥羽商船							

Cブロック

	7 高知	8 小山	9 明石	勝点	勝者数	総本数	順位
7 高知							
8 小山							
9 明石							

Dブロック

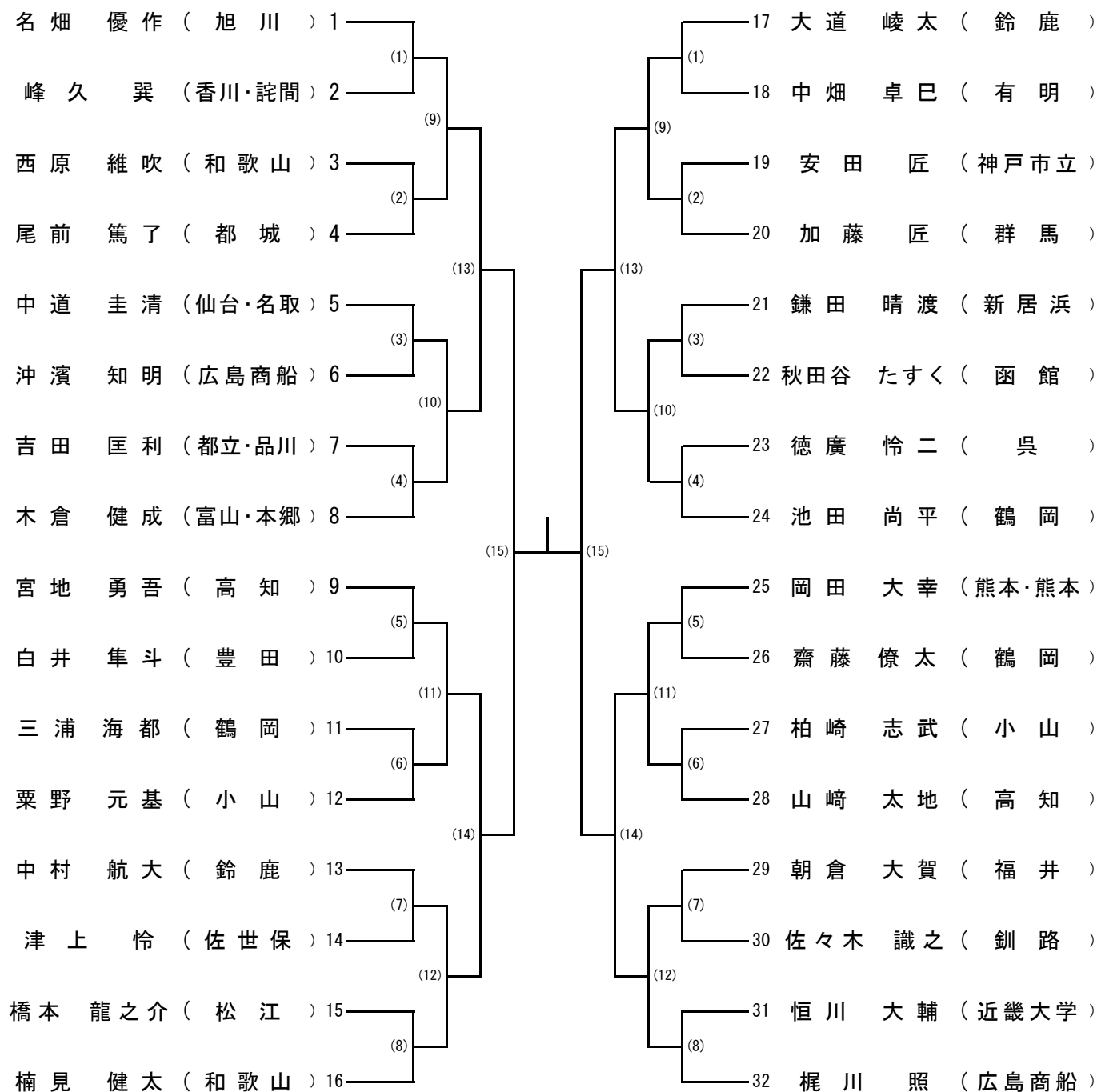
	10 鈴鹿	11 旭川	12 呉	勝点	勝者数	総本数	順位
10 鈴鹿							
11 旭川							
12 呉							

組 合 せ 表

【男子個人戦】

第 1 試 合 場

第 2 試 合 場

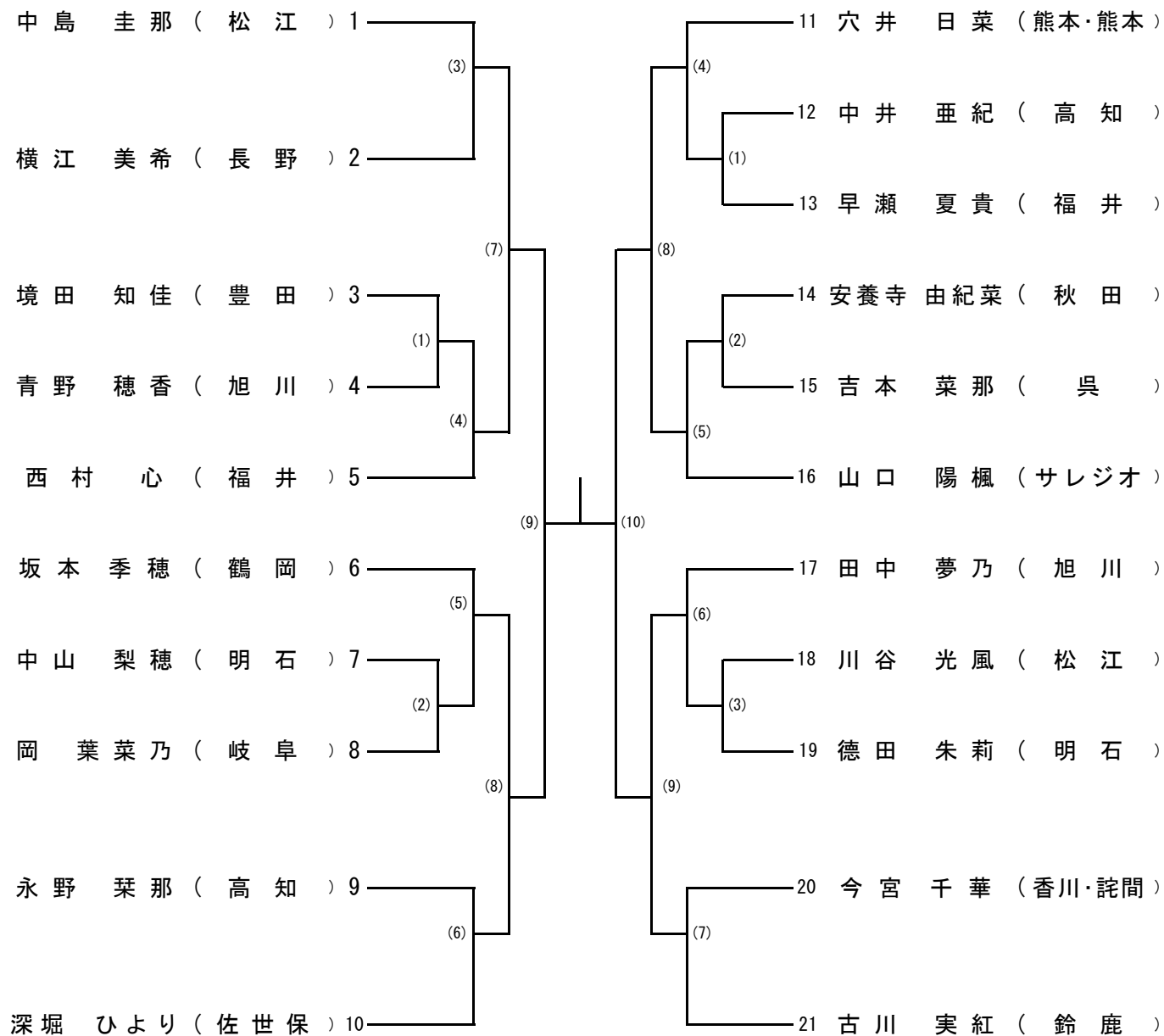


組 合 せ 表

【女子個人戦】

第 1 試 合 場

第 2 試 合 場



出場校及び選手名簿

【男子団体戦】

○印:主将

地 区	北 海 道			東 北			東 北			関 東 信 越		
学 校	苫小牧工業高等専門学校			仙台高等専門学校(名取)			鶴岡工業高等専門学校			群馬工業高等専門学校		
監 督	蓼沼 正美			濱西 伸治			渡部 誠二			飯野 一彦		
コ ー チ				高橋 佳子			鈴木 大介			平田 共生		
マネージャー	山田 真嘉			橋爪 香澄						中島 猛生		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○佐藤 翼	参	4	○但野 絢	参	5	○齋藤 僚太	参	5	○加藤 匠	参	4
	高井 恭兵	貳	3	松崎 峻	参	4	富樫 天	参	5	水野 篤輝	貳	3
	赤井 陽輝	参	3	佐藤 光司	貳	4	阿曾 仁昂	参	3	塩谷 晴	貳	3
	広瀬 和真	参	2	中道 圭清	参	3	池田 尚平	参	3	佐藤 友紀	貳	2
	田中 響	参	2	赤間 龍	貳	3	齋藤 駿人	参	3	平野 克	貳	2
	及川 友雅	貳	2	飛川 和也	参	2	三浦 海都	参	3	栗原 里和	貳	2
	矢野 日々輝	参	2	目黒 冬馬	貳	2	早坂 祐哉	貳	1	石井 祐樹	貳	1
地 区	関 東 信 越			東 海 北 陸			東 海 北 陸			近 畿		
学 校	小山工業高等専門学校			鈴鹿工業高等専門学校			富山高等専門学校(本郷)			和歌山工業高等専門学校		
監 督	西井 圭			南部 智憲			青山 晶子			青木 仁孝		
コ ー チ				吉岡 滉平			伊勢 博行			楠部 真崇		
マネージャー				平野 伶			毛利 崇力			高澤 昂生		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○渡邊 優貴	初	5	○鈴木 啓耀	参	4	泉 寿享	貳	5	瀬村 大地	参	5
	柏崎 志武	貳	3	新堂 浩大	参	4	林 洋輝	貳	5	上戸 悠生	-	4
	岸 祐太	貳	3	船木 佑也	参	3	○木倉 健成	参	3	西原 維吹	参	3
	栗野 元基	貳	2	中西 遼太	参	3	森 智希	参	3	山本 真生	参	3
	安田 良輝	貳	2	中川 遼一	貳	3	小前 怜士	初	3	岡田 卓真	初	3
	栗野 豪隆	貳	1	大道 峻太	初	2	中林 司	貳	2	○楠見 健太	参	3
	赤羽根 諠之	貳	1	中村 航大	貳	2	寺本 燎	貳	2	榎田 智矢	貳	1
地 区	近 畿			中 国			中 国			四 国		
学 校	神戸市立工業高等専門学校			広島商船高等専門学校			松江工業高等専門学校			高知工業高等専門学校		
監 督	中川 一穂			朝倉 和			齊藤 陽平			秦泉寺 俊弘		
コ ー チ	佐藤 洋俊			川頭 一誠			井上 涼太			橋本 克司		
マネージャー	山川 恭平			宮永 潤			梅木 太嗣			岡崎 健法		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○林 遼希	参	5	○榎 翼	参	5	○松浦 知希	貳	5	○二神 健	参	5
	木畑 大輝	参	5	沖濱 知明	参	5	神田 輝	貳	4	宮地 勇吾	参	5
	安田 匠	貳	5	佐々木 享	参	5	飯塚 将文	参	4	森脇 優也	参	5
	安江 楓	参	4	梶川 照	参	4	橋本 龍之介	参	3	伊月 優星	参	5
	古林 諒一	参	3	高畑 稜	貳	4	遠藤 和弥	初	3	黒岩 靖貴	貳	3
	大上 将	貳	3	生藤 晶紀	貳	4	金長 雄太	貳	3	山崎 太地	参	2
	近藤 旭	貳	1	森清 竣也	参	3	伊藤 瞭汰	貳	2	二神 啓	貳	2
地 区	四 国			九 州 沖 縄			九 州 沖 縄			開 催 校		
学 校	弓削商船高等専門学校			熊本高等専門学校(熊本)			北九州工業高等専門学校			豊田工業高等専門学校		
監 督	田房 友典			松尾 和典			滝本 隆			兼重 明宏		
コ ー チ	杉本 匡史			永野 拓也						松井 颯		
マネージャー	中橋 久美			富田 健日						草間 翔太		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○角谷 有一	参	5	武藤 晃輔	参	5	○向 翔太郎	貳	4	○白井 隼斗	貳	5
	村上 司	参	5	小峯 遼太郎	初	5	石崎 智寛	参	5	上松 英司	貳	4
	若松 敬史	貳	2	○石原 海渡	参	4	森永 伊緒太	参	5	白井 斗真	貳	3
	若田 泰希	貳	2	庄田 啓一郎	参	4	石井 紘弥	貳	3	高須 裕太	貳	2
	中村 博	初	2	前田 大輝	参	4	木村 一騎	初	2	石原 蒼平	貳	2
	村上 海翔	貳	2	岡田 大幸	参	3	大野 洸矢	初	2	中村 哲也	-	1
	平田 大和	貳	1	佐方 葵	貳	1	入江 樹	貳	1	小西 悠介	貳	1

出場校及び選手名簿

【女子団体戦】

○印:主将

地 区	北 海 道			東 北			関 東 信 越		
学 校	旭川工業高等専門学校			仙台高等専門学校(広瀬)			小山工業高等専門学校		
監 督	岡島 吉俊			熊谷 和志			西井 圭		
コ ー チ	大仙 莉子			石川 義薫					
マネージャー	松山 あいり			桶谷 健太					
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○田中 夢乃	参	3	○五十嵐 文	参	5	○田崎 朱理	貳	4
	青野 穂香	貳	2	鈴木 智千	初	4	津田 路子	貳	3
				高橋 碧	貳	2			
				湯村 夏帆	貳	2			
				岩松 怜奈	貳	1			
地 区	東 海 北 陸			東 海 北 陸			近 畿		
学 校	鈴鹿工業高等専門学校			福井工業高等専門学校			明石工業高等専門学校		
監 督	南部 智憲			手嶋 泰伸			中川 肇		
コ ー チ	西本 光佑								
マネージャー	下村 圭乃			栃川 宗次郎					
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○古川 実紅	参	4	○早瀬 夏貴	貳	4	○中山 梨穂	貳	4
	本田 遥香	参	4	田中 真紀子	初	3	徳田 朱莉	貳	2
	上川 真由	貳	4	佐々木 まどか	貳	2	樹下 晴香	貳	2
	小宮 沙和	貳	3	西村 心	貳	1			
	阪 美月	参	3						
地 区	中 国			中 国			四 国		
学 校	松江工業高等専門学校			呉工業高等専門学校			高知工業高等専門学校		
監 督	齊藤 陽平			加納 誠二			秦泉寺 俊弘		
コ ー チ	後藤 慎吾			今井 将隆			岡村 有起		
マネージャー	山本 大河			寺脇 大雅			森田 祥基		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	○川谷 光風	貳	4	○吉本 菜那	貳	5	○中井 亜紀	参	4
	中島 圭那	貳	3	橋本 恵	-	4	永野 葉那	貳	2
	勝部 萌	-	2	進藤 こころ	貳	2	岡部 茄緒	貳	2
	柴田 しおり	初	2				福留 紗稀	初	1
地 区	四 国			九 州 沖 縄			開 催 地 区		
学 校	新居浜工業高等専門学校			佐世保工業高等専門学校			鳥羽商船高等専門学校		
監 督	柳井 忠			堂平 良一			小川 伸夫		
コ ー チ	三木 祐功						竹田 照人		
マネージャー	宇田 翔			於保 大司			古市 大武		
選 手	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年	氏 名	段位	学年
	二宮 郁花	貳	5	深堀 ひより	参	3	○小林 由実	参	4
	○宮田 紗季	貳	3	○内田 みのり	参	5	勝田 百香	-	3
	田尾 ゆめ	貳	1	渡辺 晶	貳	2	辻本 凜	初	1
				東 伽菜子	貳	2	中井 彩絢	初	2
				田中 希奈	初	2			

男子個人戦出場選手名

地区	学校名	監督	選手	段位	学年
北海道	旭川	岡島吉俊	名畑優作	参	4
	釧路	渡邊聖司	佐々木識之	参	4
	函館	水野章敏	秋田谷たすく	弐	3
東北	鶴岡	渡部誠二	池田尚平	参	3
	仙台(名取)	濱西伸治	中道圭清	参	3
	鶴岡	渡部誠二	三浦海都	参	3
	鶴岡	渡部誠二	齋藤僚太	参	5
関東信越	小山	西井圭	栗野元基	弐	2
	小山	西井圭	柏崎志武	弐	3
	群馬	飯野一彦	加藤匠	参	4
	都立(品川)	伊藤聡史	吉田匡利	参	5
東海北陸	鈴鹿	南部智憲	大道峻太	初	2
	鈴鹿	南部智憲	中村航大	弐	2
	富山(本郷)	青山晶子	木倉健成	参	3
	福井	手嶋泰伸	朝倉大賀	弐	4
近畿	和歌山	青木仁孝	楠見健太	参	3
	神戸市立	中川一穂	安田匠	弐	5
	和歌山	青木仁孝	西原維吹	参	3
	近畿大学	畑山伸訓	恒川大輔	弐	4
中国	広島商船	朝倉和	梶川照	参	4
	広島商船	朝倉和	沖濱知明	参	5
	松江	齊藤陽平	橋本龍之介	参	3
	呉	加納誠二	徳廣怜二	参	3
四国	高知	秦泉寺俊弘	宮地勇吾	参	5
	新居浜	柳井忠	鎌田晴渡	弐	1
	高知	秦泉寺俊弘	山崎太地	参	2
	香川(詫間)	川染勇人	峰久巽	参	3
九州沖縄	熊本(熊本)	松尾和典	岡田大幸	参	3
	佐世保	堂平良一	津上怜	参	3
	都城	藤永伸	尾前篤了	弐	4
	有明	泉勝弘	中畑卓巳	参	3
開催校	豊田	兼重明宏	白井隼斗	弐	5

女子個人戦出場選手名

地 区	学校名	監 督	選 手	段 位	学 年
北 海 道	旭 川	岡 島 吉 俊	田 中 夢 乃	参	3
	旭 川	岡 島 吉 俊	青 野 穂 香	貳	2
東 北	鶴 岡	渡 部 誠 二	坂 本 季 穂	参	2
	秋 田	長 谷 川 裕 修	安 養 寺 由 紀 菜	貳	1
関 東 信 越	サ レ ジ オ	村 瀬 直 樹	山 口 陽 楓	貳	1
	長 野	西 川 嘉 雄	横 江 美 希	初	2
東 海 北 陸	鈴 鹿	南 部 智 憲	古 川 実 紅	参	4
	岐 阜	山 田 実	岡 葉 菜 乃	貳	3
	福 井	手 嶋 泰 伸	西 村 心	貳	1
	福 井	手 嶋 泰 伸	早 瀬 夏 貴	貳	4
近 畿	明 石	中 川 肇	中 山 梨 穂	貳	4
	明 石	中 川 肇	徳 田 朱 莉	貳	2
中 国	松 江	齊 藤 陽 平	中 島 圭 那	貳	3
	呉	加 納 誠 二	吉 本 菜 那	貳	5
	松 江	齊 藤 陽 平	川 谷 光 風	貳	4
四 国	高 知	秦 泉 寺 俊 弘	中 井 亜 紀	参	4
	高 知	秦 泉 寺 俊 弘	永 野 栞 那	貳	2
	香川(詫間)	川 染 勇 人	今 宮 千 華	参	4
九 州 沖 縄	佐 世 保	堂 平 良 一	深 堀 ひ より	参	3
	熊本(熊本)	松 尾 和 典	穴 井 日 菜	貳	2
開 催 校	豊 田	兼 重 明 宏	境 田 知 佳	初	4

年度別大会優勝校(者)一覧

年度	回	主管校	男子団体戦			女子団体戦			男子個人	女子個人
			優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位		
昭和 41	第1回	豊田	鈴鹿	久留米	高知					
42	第2回	舞鶴	久留米	津山	長岡				川村 憲行 (鈴鹿)	
43	第3回	群馬	津山	都立航空	佐世保				行正 得治 (津山)	
44	第4回	宮城								
45	第5回	鈴鹿	有明	和歌山	大阪				行正 得治 (津山)	
46	第6回	大阪府立	久留米	秋田	和歌山				行正 得治 (津山)	
47	第7回	小山	鈴鹿	高知	有明				小瀬 努 (和歌山)	
48	第8回	津山	和歌山	大阪	鈴鹿				近藤 淳 (津山)	
49	第9回	福井	弓削商船	鈴鹿	大分				河辺 篤 (鳥羽商船)	
50	第10回	明石	有明	鹿児島	鈴鹿				豆田 一也 (有明)	
51	第11回	長岡	有明	鹿児島	宇部				伊達 茂隆 (鹿児島)	
52	第12回	福島	久留米	津山	都城				尾地 賢治 (熊野)	
53	第13回	岐阜	豊田	久留米	広島商船				青塚 和男 (鶴岡)	
54	第14回	奈良	鹿児島	有明	津山				境 幸浩 (有明)	
55	第15回	長野	都城	富山商船	明石				中上 俊哉 (有明)	
56	第16回	呉	鹿児島	阿南	明石				宮崎 修一 (熊本電波)	
57	第17回	仙台電波	都城	高知	津山				宮崎 修一 (熊本電波)	
58	第18回	富山	育英	鹿児島	石川				野口 孝之 (育英)	
59	第19回	和歌山	和歌山	鈴鹿	福島				兼重 明宏 (大島商船)	
60	第20回	茨城	茨城	徳山	高知				江崎 和彦 (有明)	
61	第21回	宇部	久留米	詫間電波	宮城				青江 保昌⑤ (津山)	
62	第22回	秋田	和歌山	福島	弓削商船				前田安紀彦⑤ (和歌山)	
63	第23回	久留米	久留米	福島	金沢				林 一英③ (久留米)	
平成 元	第24回	鳥羽商船	鈴鹿	鹿児島	東京都立				竹田 照人④ (鈴鹿)	鶴岡 周子① (八代)
2	第25回	苫小牧	鈴鹿	有明	秋田				仲村 仁⑤ (新居浜)	鶴岡 周子② (八代)

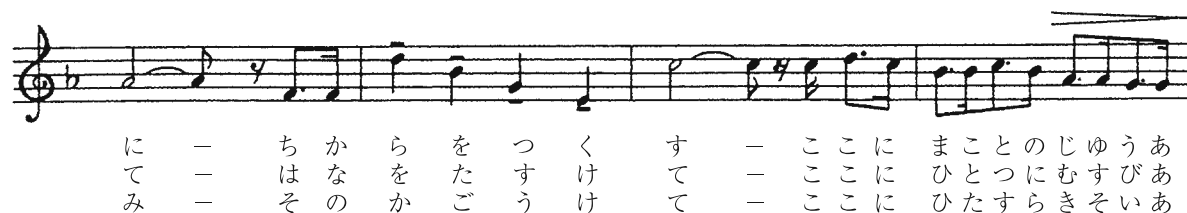
年度別大会優勝校(者)一覽

年度	回	主管校	男子団体戦				女子団体戦				男子個人	女子個人
			優勝	準優勝	3位		優勝	準優勝	3位			
平成 3	第26回	高松	有明	鈴鹿	長岡						大西 聡⑤ (熊野)	内田 夕貴② (熊本電波)
4	第27回	東京	鈴鹿	八代	鶴岡						田中 年男③ (熊野)	内田 夕貴③ (熊本電波)
5	第28回	松江	鈴鹿	熊本電波	小山						古田 章二④ (八代)	鶴岡 周子⑤ (八代)
6	第29回	鶴岡	熊本電波	鈴鹿	鶴岡						本間 渉⑤ (鶴岡)	阿部 緑② (秋田)
7	第30回	神戸市立	鶴岡	都城	鈴鹿	熊野					大塚 誠⑤ (有明)	保坂 渉③ (秋田)
8	第31回	佐世保	鈴鹿	金沢	熊野	久留米					土門 信幸⑤ (鶴岡)	品川 千晶② (北九州)
9	第32回	鈴鹿	鈴鹿	金沢	沼津	神戸市立					金川兼二郎④ (鈴鹿)	毛利 妙子③ (岐阜)
10	第33回	都立航空	鈴鹿	大島商船	金沢	弓削商船					棚田 一也④ (鈴鹿)	山田 康代⑤ (津山)
11	第34回	新居浜	鈴鹿	大島商船	小山	新居浜					馬場 政則⑤ (大島商船)	岡部 由佳② (新居浜)
12	第35回	釧路	熊本電波	金沢	福島	新居浜					内田 洋市③ (熊本電波)	徳本奈津子③ (大島商船)
13	第36回	津山	鈴鹿	大島商船	津山	神戸市立					佐々木一記③ (鶴岡)	市川 佳子④ (鈴鹿)
14	第37回	一関	鈴鹿	熊本電波	鶴岡	金沢	鈴鹿A	大島商船	鹿児島・都城	鈴鹿B	植木 雄太③ (大島商船)	徳本奈津子⑤ (大島商船)
15	第38回	有明	鈴鹿	金沢	津山	鶴岡	鈴鹿A	鹿児島	鈴鹿B		中川 浩平⑤ (鈴鹿)	榊田 弥来⑤ (新居浜)
16	第39回	鈴鹿	鈴鹿	北九州	大島商船	金沢	鈴鹿A	鹿児島	鈴鹿B		近藤 温史⑤ (鈴鹿)	斉藤 凜花① (北九州)
17	第40回	小山	北九州	鈴鹿	秋田	函館	鈴鹿A	鹿児島	茨城	鈴鹿B	御手洗祐介④ (北九州)	斉藤 凜花② (北九州)
18	第41回	神戸市立	北九州	熊本電波	神戸市立	秋田	鈴鹿	鹿児島	函館・釧路	米子	御手洗祐介⑤ (北九州)	田中 信子① (北九州)
19	第42回	弓削商船	鈴鹿	北九州	苫小牧	大島商船	鈴鹿	徳山	阿南	米子	谷口 佳佑① (高知)	田中 信子② (北九州)
20	第43回	釧路	鈴鹿	北九州	秋田	神戸市立	鈴鹿	阿南	徳山		栗原 保司④ (苫小牧)	松岡 望美③ (鈴鹿)
21	第44回	北九州	鈴鹿	北九州	神戸市立	秋田	鈴鹿	阿南	鶴岡	八代	栗原 保司⑤ (苫小牧)	田中 信子④ (北九州)
22	第45回	福井	鈴鹿	呉	苫小牧	高知	鈴鹿	阿南	鶴岡		岡村 崇生③ (高知)	田中 愛② (鈴鹿)
23	第46回	長岡	高知	佐世保	鈴鹿	呉	鈴鹿	熊本(八代)	鶴岡		岡村 崇生④ (高知)	布野愛由美③ (松江)
24	第47回	米子	高知	鈴鹿	北九州	呉	鈴鹿	徳山	茨城	鶴岡	岡村 崇生④ (高知)	吉本 沙穂① (徳山)
25	第48回	鶴岡	高知	鈴鹿	鶴岡	北九州	鈴鹿	高知	佐世保	富山(本郷)	岸田 成人④ (高知)	甲藤 佑香③ (高知)
26	第49回	香川(詫間)	高知	松江	和歌山	熊本(熊本)	鈴鹿	高知	香川(詫間)	松江	芳川 光佑⑤ (高知)	中井 亜紀② (高知)
27	第50回	熊本(熊本)	熊本(熊本)	北九州	高知	鈴鹿	松江	鈴鹿	佐世保	高知	畑中 秀也⑤ (北九州)	中島 圭那② (松江)

全国高専体育大会の歌

山口 誓子 作詞
大橋 博 作曲

行進曲



- 一、 若人^{わこうど}吾等
規律^{きりつ}の下^{もと}に
力を^{ちから}尽くす
ここにまことの
自由あり
栄えあるスポーツ
栄えあるスポーツ
- 二、 若人^{わこうど}吾等
花を^{はな}咲かせて
花を^{はな}援^{たす}けて
ここに^{ひと}一つに
結び合ふ
親しやスポーツ
親しやスポーツ
- 三、 日出づる^ひ国の
青き^{やまなみ}山脈
その加護^{かご}受けて
ここに^{きそく}ひたすら
競い^{うま}合ふ
美し^{うつく}スポーツ
美し^{うつく}スポーツ

協 賛 企 業

第51回全国高等専門学校体育大会剣道競技は、多くの企業よりご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- リョーエイ株式会社
- 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
- オーエスジー株式会社
- 新明工業株式会社
- ダイキン工業株式会社
- 日東電工株式会社 豊橋事業所
- 日本車輛製造株式会社
- 日本特殊陶業株式会社
- 小島プレス工業株式会社
- 豊田鉄工株式会社
- パナソニック エコシステムズ株式会社
- 富士機械製造株式会社
- フジテック株式会社
- 村田機械株式会社
- ムラテック CCS 株式会社
- 王子製紙株式会社春日井工場
- 株式会社 槌屋
- トヨタ自動車株式会社
- プライムアース EV エナジー株式会社
- 井上武道具
- 名鉄観光バス株式会社

リョーエイ株式会社

本 社：愛知県豊田市本地町4丁目52番地

九州工場：福岡県京都郡苅田町松原378番地71

関連会社：リョーエイ・タイランド、（株）コムビック
菱栄エンジニアリング（株）

会社設立：昭和48年（1973年）

資本金：8,000万円

社員数：197名（男子159名 女子38名）

はじめまして、弊社は自動車産業を中心に、最先端の技術を駆使活用した組付機・測定機器・各種生産ライン等支援機の企画・設計・加工・製作に関わる研究開発等の事業、また、アルミ鋳物等の各種材料検査に関わる事業を営んでおります。

URL <http://www.ryoei-e.com>

電話 0565-29-6060

FAX 0565-29-6950

求人用 saiyo@ryoei-eng.co.jp



shaping your dreams

オーエスジー株式会社



はじめまして。

私達はオーエスジー株式会社です。

みなさん、「工具」の世界へようこそ。

工具がなければ私たちの生活は成り立ちません。

自動車や飛行機、造船、通信機器など、あらゆる分野で私たちの製品は使われております。

～Shaping your dreams～

今後も高い技術力を活かし、お客様の夢を、そしてものづくりの未来をカタチにしていきます。

【会社概況】

社名：オーエスジー株式会社

本社：愛知県豊川市本野ヶ原3-22

設立：1938年3月26日

資本金：104億4百万円

従業員数：5,569名（連結） 1,639名（単体）

事業内容：

切削工具・転造工具・測定工具・工作機械
機械部品の製造販売、工具の輸入販売



〒442-8543

愛知県豊川市本野ヶ原3-22

オーエスジー株式会社

Tel: 0533-82-1130

Fax: 0533-82-1131

会社HP <http://www.osg.co.jp>

社会に貢献できる

環境先進企業

をめざして。



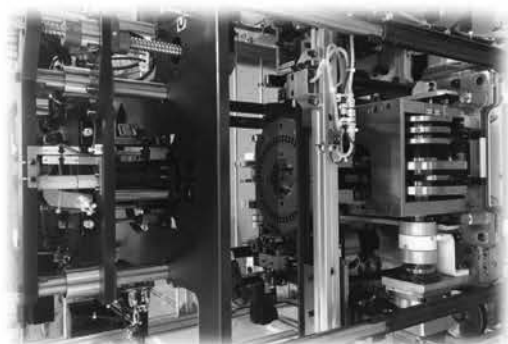
新明工業株式会社

〒471-0856 豊田市衣ヶ原3-20

TEL (0565) 32-3450

次世代のクルマ社会に貢献する

- ・生産設備・装置の設計・製作
- ・各種自動車整備
- ・特装車の製造・販売



自動車生産用
精密組付装置



交通規制車
ロボコーン



完成車衝突回避支援
検査装置



豊田市が推進する

『ミライ・チャレンジ都市推進』第1号認定
ビレッジ・モビリティ

SHINMEI

<http://www.shinmei.co.jp>

ダイキン工業株式会社

年間連結売上高2兆円超え。過去10年間でダイキンは大きな変化を遂げました。
売上高2.6倍、海外売上高4.3倍、従業員数3.1倍。

我々にはまだまだやるべきテーマ・課題がたくさんあります。
世界を舞台に更なる前進を続け、
「真のグローバルエクセレントカンパニー」の実現を目指し、
世界の空調市場をリードし続けていきます。



空調部門

- 世界で唯一、空調機・冷媒ガスを自社独自で開発・製造の出来る総合空調メーカー
- 売上世界トップクラスを支えるハイレベルなものづくり

化学部門

- 世界売上NO. 2のフッ素化学事業
- フッ素コーティング材から電池まで、各種最先端機器に使用される製品を展開

サービス部門

- ダイキンが誇る、お客様の困りごとを解決するプロフェッショナル
- 「ソリューション事業の拡大」も担う

油機部門

- 建設機械や工作機械をコントロールする油圧機器を展開
- インバータ技術を融合した独自のハイブリッド油圧機を開発

特機部門

- 防衛省向け製品、医療機器を展開
- 極めて高度な精密加工技術、解析評価技術を有する

ホームページも是非見てね！
<http://www.daikin.co.jp/recruit/expert/>



Nittoは、新しい発想で
お客様の価値創造に
貢献します。

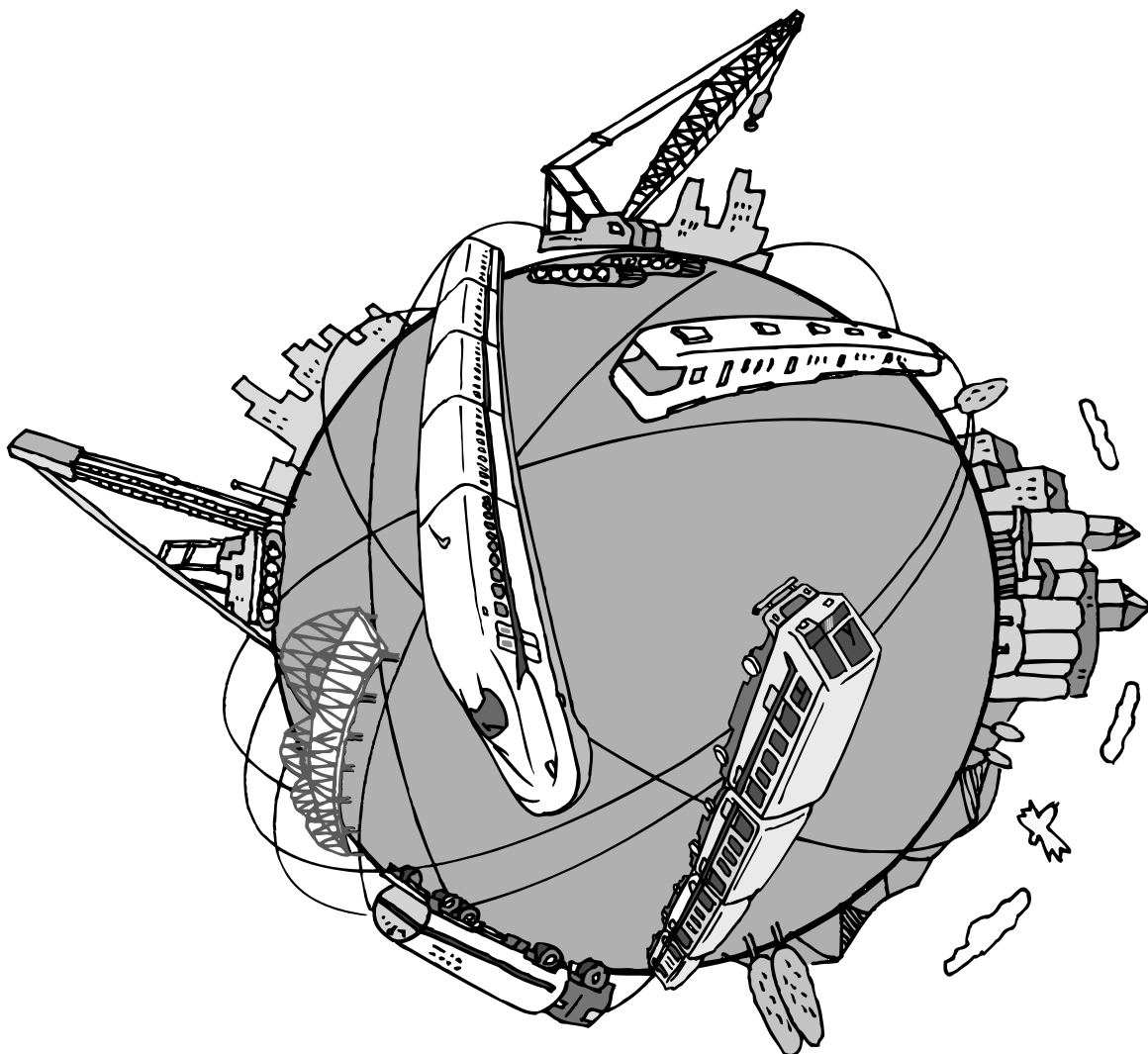
Nitto

Innovation for Customers

日東電工株式会社 豊橋事業所

〒441-3194 愛知県豊橋市中原町字平山18番地

www.nitto.com



循環型社会の基礎づくり。

N700A新幹線をはじめとする鉄道車両から、
輸送用機器、建設機械、橋梁、
さらには農業プラントまで。
日本車両は、21世紀社会のインフラ創造企業として、
より豊かな人間環境づくりをめざします。

重日本車両

本社/〒456-8691 名古屋市熱田区三本松町1-1
<http://www.n-sharyo.co.jp/>

Kijima

創造と英知 限りない未来に前進

Steel

Plastic

Electronic



—— 自動車部品専門メーカー ——



小島プレス工業株式会社

本社 愛知県豊田市下市場町3丁目30番地

TEL 0565-34-6868 (代表)

URL <http://www.kojima-tns.co.jp/>

目線は未来に、
フィールドは世界へ。

Face to the Future
The World is the Stage for TOYOTETSU Products.



豊田鉄工株式会社

【本社】〒471-8507 豊田市細谷町 4-50
TEL.0565-26-1212 (代)

URL <http://www.tiw.co.jp>

ロボットで未来を拓く富士機械製造
FUJI robots lead the innovation



富士機械製造株式会社

〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山19番地 TEL(0566)81-2111(代表)

www.fuji.co.jp

World elevator. Love your ride.

[セカエレ]

世界のエレベータ・エスカレータ

FUJITEC

フジテック株式会社

muratec

たとえば、ムラテックの製品はこんなところで活躍しています。

豊かな未来を実現する ムラテック

新しい価値の創造とモノづくりへの真摯な姿勢を貫き、
お客さまに喜ばれる製品の提供を通じて、
豊かな社会の実現をめざします。

- ロジスティクスシステム
- ファクトリーオートメーション
- 半導体工場FAシステム
- 工作機械
- シートメタル加工機
- 繊維機械
- デジタル複合機／ファクシミリ
- センサ／制御機器

村田機械株式会社

本社／京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075 (672) 8111 (ダイヤルイン番号案内)

<http://www.muratec.co.jp>

半導体工場FAシステム



工作機械



繊維機械



FA & ロジスティクスシステム



デジタル複合機 &
ネットワークソリューション



TOYOTA

明日へ、つづく、つないでいく。

美しい自然を、人間は創りだすことができません。現代のこのすばらしい文明も、私たちの力だけでは築けません。いま、ここにあるすべては、過去より受け継いできた大切なもの。この財産を豊かに育み、子どもたちの未来に手渡していくことが、いまを生きる私たちの役目ではないでしょうか。トヨタは「環境」「交通安全」「人材育成」をはじめ「社会・文化」など幅広い分野で、さまざまな社会貢献活動を進めるとともに、社員のボランティア化活動を支援しています。日本で、世界で、地球市民の一員として、豊かな社会づくりとその持続的な発展のための活動に取り組んでいます。



トヨタの社会貢献活動の情報は、インターネットで詳しくご覧いただけます。
http://www.toyota.co.jp/social_contribution/

トヨタ自動車株式会社

井上武道具

愛知県豊田市陣中町1丁目10-2

TEL : 0565-33-5646 FAX : 0565-33-8067

営業時間 10:00~20:00

ドラゴンスバック
名鉄観光バス
豊田支店

〒471-0025 豊田市西町1-200
(とよた参合館1階)

TEL 0565-35-3388

営業時間 月～金 10:00～18:00

定休日 土曜・日曜・祝日

編集・発行

独立行政法人 国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校 学生課学生支援係

第51回全国高等専門学校体育大会剣道競技事務局

〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地

T E L 0565-36-5913 F A X 0565-36-5970

三菱電機ビルテクノサービスは全国高等専門学校体育大会を応援します。



The
Building
Experts



ビルを、まるごと、エコチェンジ。

ビルを、まるごと、心地よくする。

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

人事部 採用グループ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1(有楽町電気ビル北館内)
TEL(03)3201-8070 <http://www.meltec.co.jp>